

「三宝通信」法話

浄土宗 天上山 大念寺
住職 大島 祥明



住職 大島 祥明 さんに聞く

未来永劫の安心

お墓選びはよく見て、

よく考えて

お盆、お彼岸など先祖供養の時期が近付くと、安住の地、終の棲家であり、祈りの場、家族の心のよりどころでもある「墓地」をどうしようかと考える読者も多いことだろう。

そこで、船橋市馬込町で宗派にこだわらず、檀

●編集長

← おみの郷霊園は船橋市街にも近く、バス停から1〜2分、馬込沢駅からのんびり歩いて12〜3分と、大変便利な場所にありますね。

●大島住職

お歳を取ってから駅やバス停が近いとお参りに便利でしょう。園内は水はけに配慮し、バリアフリーで、どなたにもお参りしやすい設計にいたしました。

●編集長

霊園内は緑豊かで、管理棟は明るく、清掃や手入れが行き届いていて雑草一つ生えていない、まるで公園のようですね。

●大島住職

管理棟や休憩室には係員が常駐して万全な管理をしています。墓地は一度購入すると長きに渡って利用するものですから、管理者が明瞭でないと、将来荒れ果てるなど、たいへんなことにもなりかねません。当寺では法要堂、休憩室や会食が出来る

家制度も取らない新しいタイプの霊園として注目されている「和みの郷霊園」を運営する、浄土宗の僧正で天上山大念寺の大島祥明住職に、お墓選びのポイントを伺った。

大島住職は話題の本「死んだらおしまい、ではなかった」(PHP刊)の著者としても有名。死後のことや、供養についての疑問に答える名著で、発刊から3年10カ月、この7月までに12万1千部が出版された。

* * *

●編集長

3、11の震災で、貴寺の霊園の墓石はびくともしなかったと伺いました。

●大島住職

はい、その通りです。墓地の土地選びは地盤が強固な地山で水はけが良いことが求められます。和みの郷霊園は海拔25㍎の地山で津波被害の心配もなく、その上、お墓は免震施工なので未来永劫安心して利用いただけます。↑

る部屋も利用いただけます。

●編集長

檀家制度が無く、宗教、宗派不問、その上、寄付金などの費用がないなど、これからの新しい形のお寺と聞きました。

●大島住職

亡くなられた方が粗末に扱われたり、葬儀や先祖供養が簡略化されている原因の一つが、時代性に合わず、経費のかけりすぎる檀家制度にあると考えます。当寺は一切の寄付金をいただいております。また、園内には「永代合祠墓」を設けました。お墓を継承する方がいなくても、安心していただけるよう、霊園が責任を持って永代にわたって供養と管理を行う施設です。お墓選びは焦らず、よく見て、よく考えていただきたいものです。

【大島 祥明】1944年大阪市生まれ。仏教大学・同大学院修了(文修)、浄土宗僧正。87年12月、船橋市上山町に大念寺開山。08年5月、同市馬込町に新寺移転。